

地域が育む「かごしまの教育」県民週間への取組

～北小オープンスクールウィーク～

日置市立伊集院北小学校PTA会長 久富木 良



妙円寺詣り

本校は、日置市の北部に位置する児童数124人の小規模校です。PTA会員数は103人(教職員を含む)で、保護者と教職員が協力して、和気あいあいとした雰囲気の中で充実した活動を行っています。

心の教育の日

「北小オープンスクールウィーク」では、保護者や地域の方々に自由に学校を参観していただいています。その中の一日を「心の教育の日」として、全学年で道徳の授業を行っています。

「二の目」あいさつ運動

北小のオープンスクールウィークは、毎月実施している「二の目」あいさつ運動から始まりです。日置市が提唱している「おひさま運動」とも連携しながら取り組んでいます。

朝、子どもたちの登校時に、PTA生活指導委員会の保護者が校門前に立ち、「あいさつの日」のぼり旗を掲げながら声をかけています。子どもたちも元気に「おはようございます」と返しています。

づけて取り組んでいます。

ふれあい給食会

保健体育委員会を中心として、「早寝・早起き・朝ごはん」などの「食育」について考えてもらう活動の一環として「ふれあい給食」を実施しています。学年ごとの教室で子どもたちと一緒に楽しく給食をいただくことで、学校給食を味わうと共に、子どもたちとの交流も深めることができます。また、子どもの頃を懐かしく思い出された方もいらつしやいます。

学習発表会

子どもたちの学習成果の発表の場である「学習発表会」を参観することで、子どもの頑張りを認め、励ます機会としています。

学年ごとに劇・音楽・群読・体育など、バラエティーに富んだ発表が行われます。全校合唱では、保護者も一緒に大きな声で歌っています。

子どもたちの頑張る姿から、「協力し合う気持ち」「よりよいものにしていこうとする気持ち」が伝わってきます。来賓の方から、「演技も素晴らしいかったです。子ども

たちの見る態度がとても素晴らしい、感動しました」という声もいただきました。

妙円寺詣り

本校の校訓である「望み大きく、うるわしく、たくましく」の「うるわしく」を考える大変良い機会です。

PTA研修視察

この時期に、PTA広報研修委員会運営によるPTA研修視察が行われます。昨年度は約20人の会員が参加し、交流や情報交換を行うことで会員の意識も高まり、充実した研修になりました。

棒踊り

地域の伝統芸能である「上神殿の棒踊り」は、長年子どもたちが学習の一環として取り組み、運動会で発表しています。昨年度復活した「下神殿棒踊り」は、親子で継承活動に取り組み地域の行

事で発表しています。これからの北小PTA

北小は、あと2年で創立60周年になります。近年、創立当時から校舎の老朽化が進み、数年後に改築の予定です。児童数が減少傾向にあり、それとともにPTA会員数も減少することから、対策を講じていかななくてはなりません。

大きな変革を迎える節目の時期に当たり、PTAとしても、会員一人一人が主体的に活動できるPTAを運営していくための組織力を育てていきたいと思っています。

PTAとして各家庭で設定している、「我が家の一家訓」「我が家の教育の日」とも関連